

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式				
信託期間	無期限（2021年6月1日設定）				
運用方針	<p>グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等（D R（預託証書）を含みます。）に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、グリーン・テクノロジー関連企業とは、S D G s（持続可能な開発目標）における持続可能なエネルギーや気候変動に関連する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待される企業をいいます。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>マザーファンドの株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスター・ゲーエムベーハーに運用指図に関する権限を委託します。また、アリアンツ・グローバル・インベスター・ゲーエムベーハーは、委託を受けた運用の指図に関する権限の一部を、アリアンツ・グローバル・インベスター・ズ・アジア・パンフイック・リミテッドに更に委託することができます。</p>				
主要運用対象	<table border="1"> <tr> <td>ペビーファンド</td> <td>グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</td> </tr> <tr> <td>マザーファンド</td> <td>日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等（D R（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	ペビーファンド	グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。	マザーファンド	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等（D R（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
ペビーファンド	グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。				
マザーファンド	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等（D R（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。				
主な組入制限	<table border="1"> <tr> <td>ペビーファンド</td> <td>株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。</td> </tr> <tr> <td>マザーファンド</td> <td>株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。</td> </tr> </table>	ペビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
ペビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。				
マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。				
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>				

## 運用報告書（全体版）

## グリーン・テクノロジー株式ファンド（為替ヘッジなし）

愛称：グリーン革命



第4期（決算日：2025年5月27日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「グリーン・テクノロジー株式ファンド（為替ヘッジなし）」は、去る5月27日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○設定以来の運用実績**

決算期	基準価額				(参考指數) MSCI オールカントリー・ ワールド インデックス (配当込み、 円換算ベース)	株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配 み金	期騰 落率				
(設定日) 2021年6月1日	円 10,000	円 —	—	% —	40,019.51	% —	% —	百万円 1,051
1期(2022年5月27日)	9,969	0	△ 0.3	42,175.23	5.4	97.4	—	9,710
2期(2023年5月29日)	10,817	10	8.6	48,625.62	15.3	96.8	—	6,880
3期(2024年5月27日)	11,856	10	9.7	66,772.97	37.3	94.2	—	4,917
4期(2025年5月27日)	9,522	0	△19.7	67,643.27	1.3	96.1	—	2,621

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	( 参 考 指 数 )		株組入比率	株式比率
		騰 落 率	MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、円換算ベース)		
(期 首) 2024年5月27日	円 11,856	% —	66,772.97	% —	% 94.2
5月末	11,824	△ 0.3	65,854.78	△1.4	95.1
6月末	11,395	△ 3.9	69,722.53	4.4	97.5
7月末	10,720	△ 9.6	65,863.38	△1.4	96.8
8月末	10,083	△15.0	64,672.46	△3.1	97.5
9月末	10,424	△12.1	65,811.66	△1.4	96.2
10月末	10,475	△11.6	70,215.94	5.2	97.9
11月末	10,250	△13.5	70,057.23	4.9	94.9
12月末	10,178	△14.2	73,004.44	9.3	96.9
2025年1月末	9,799	△17.3	73,084.54	9.5	94.0
2月末	9,543	△19.5	69,646.81	4.3	97.9
3月末	9,348	△21.2	67,493.64	1.1	98.0
4月末	8,928	△24.7	64,566.47	△3.3	95.7
(期 末) 2025年5月27日	9,522	△19.7	67,643.27	1.3	96.1

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客様の資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったものです。

# 運用経過

第4期：2024年5月28日～2025年5月27日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移

(円)

(百万円)

16,000

25,000

14,000

20,000

12,000

15,000

10,000

10,000

8,000

5,000

6,000

0

2024/5/27

2024/9/19

2025/1/21

2025/5/21

右目盛

左目盛

--- 参照指数：左目盛

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ19.7%の下落となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 下落要因

保有するルネサスエレクトロニクスやファーストソーラーなどの株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

第4期：2024年5月28日～2025年5月27日

## ▶投資環境について

### ▶株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年7月前半にかけては、米国の雇用統計やインフレ指標の結果を受けて米国金利が低下したことなどがプラス材料となりました。その後、米国の景気後退懸念などから大きく下落する局面もあったものの、米国の良好な経済指標や米国を中心に利下げ観測が高まったことなどがプラス材料となり、当期間を通じてみると上昇しました。

### ▶為替市況

米ドル、ユーロは対円で下落しました。

主要通貨は円に対して下落しました。期間の初めから2024年7月前半にかけては、日本銀行が緩和的な金融政策を維持したことなどを受けて、米ドルは円に対して上昇しました。7月後半から9月前半にかけては米国の利下げ観測の高まりなどを受けて米ドルは円に対して下落しました。その後は日米金利差拡大などを受けて上昇しましたが、11月下旬以降は米連邦準備制度理事会（F R B）が12月に利下げを実施するとの観測などを背景に米ドルは円に対して下落し、当期間を通じてみると下落しました。また、ユーロは円に対して下落しました。

## ▶当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶グリーン・テクノロジー株式ファン ド（為替ヘッジなし）

グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

### ▶グリーン・テクノロジー株式マザ ー ファン

当期間は、S D G s（持続可能な開発目

標）における持続可能なエネルギーや気候変動に関連する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待されるグリーン・テクノロジー関連企業の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、グリーン・テクノロジー関連企業の中から、3つのテーマへの貢献度や事業の収益機会を考慮した投資候補銘柄を選定し、その銘柄群の中から、企業の成長見通し、事業構造の質、競争優位性および株価のバリュエーション等を考慮しました。なお、運用指図に関する権限をアリアンツ・グローバル・インベスタートーズ・ゲーエムベーハー\*に委託しています。

\*同社は運用指図に関する権限の一部をアリアンツ・グローバル・インベスタートーズ・アジア・パシフィック・リミテッドに更に委託します。

決算日時点におけるテーマ別構成比は、クリーンエネルギー生成34.4%、効率的なエネルギー貯蔵12.9%、持続可能なエネルギー消費49.1%となっております。

（比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。）

銘柄入れ替えのポイントは以下の通りです。

### 新規組入銘柄

モノリシック・パワー・システムズ（持続可能なエネルギー消費）<スマートグリッド（次世代送電網）>

同社は、電力管理ソリューションというニッチ分野における主要プレイヤーであり、新しい人工知能（AI）時代において、エネルギー効率化ソリューションを求める流れから恩恵を受けると考え、新

規購入しました。同社の半導体製品は産業用パワー・マネジメント、電気自動車分野で重要な役割を果たし、気候変動対策に貢献していると考えています。

### 全売却銘柄

サムスンSDI（効率的なエネルギー貯蔵）<リチウムイオン>

中国の競合企業との競争激化により軟調となった韓国のリチウムイオン電池メーカーであるサムスンSDIを全売却しました。

### エンゲージメント（企業との目的を持った対話）

ネクサンス（クリーンエネルギー生成）<再生可能エネルギー>

同社は、送電や配電に使用されるケーブルや関連サービスなどを提供する企業です。同社の取締役会の構成に関して、議論を深めるために、エンゲージメントを実施しました。最高経営責任者（CEO）の報酬に関し、長期インセンティブ制度（LTIP）における無償株式の付与や、株主総利回り（TSR）の達成水準に関する誤解を招く開示内容について懸念を伝えました。同社は意見を真摯に受け止めつつも、現行の制度の維持を支持する姿勢を示しました。

エア・リキード（効率的なエネルギー貯蔵）<水素技術>

同社は、産業、ヘルスケア分野などに産業用ガスおよび関連技術、サービスを提供する企業です。同社の生物多様性および気候変動戦略に関して、議論を深めるために、エンゲージメントを実施しました。生物多様性については、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）フレームワークの採用によって水不足が問題にならない地域にも水資源管理システムを拡大することなどを提案しました。また、気候変動については、同社のネットゼロ戦略などへの整合性について議論し、より高い目標設定を求めました。

※アリアンツ・グローバル・インベスターズ（以下、Allianz GI）の資料に基づき作成しております。エンゲージメントにおいて、実施時期が運用報告期間と異なる場合があります。

### Allianz GIのスチュワードシップ活動

2024年は、460社の投資先企業との間で605回のエンゲージメントを行いました。Allianz GIは、サステナブル投資とインパクト投資が加速度的に発展する中、私たちのアプローチは長期的なビジョンに導かれており、お客様やその他のステークホルダーの明確な投資目標を実現することに重点を置いています。

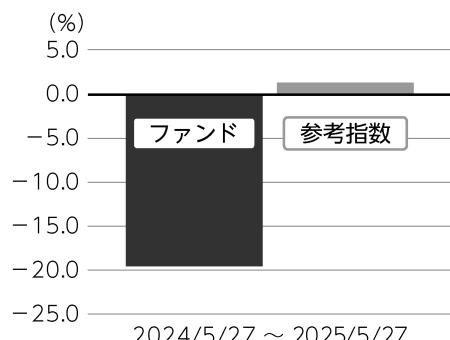
※SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の目標で、持続可能な社会を実現するために貧困や教育、環境など17の目標から構成されています。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

#### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかつた利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期 2024年5月28日～2025年5月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－%）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,653

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

## ▶ グリーン・テクノロジー株式ファン

### ド（為替ヘッジなし）

グリーン・テクノロジー株式マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

## ▶ グリーン・テクノロジー株式マザーファンド

先進国や多くの新興国では経済の悪化が広がる中、米国による関税政策は、世界の経済・貿易システムに大きな影響を与える可能性があります。米国市場のようなバリュエーションの高い市場では、不確実性の高まりや成長とインフレ見通し

の悪化などを背景に、ボラティリティの大幅な上昇や調整期間の長期化の可能性が高まっています。欧州や中国は米国の関税による需要へのマイナスの影響により、同地域の一部の株式は打撃を受けると見ています。当ファンドの運用については、SDGs（持続可能な開発目標）における持続可能なエネルギーや気候変動に関する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待されるグリーン・テクノロジー関連企業への投資を行ってまいります。

2024年5月28日～2025年5月27日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	195	1.924	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(106)	(1.044)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(84)	(0.825)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	3	0.031	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(3)	(0.031)	
(c)有価証券取引税	2	0.022	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.022)	
(d)その他費用	4	0.041	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.036)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	204	2.018	

期中の平均基準価額は、10,158円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

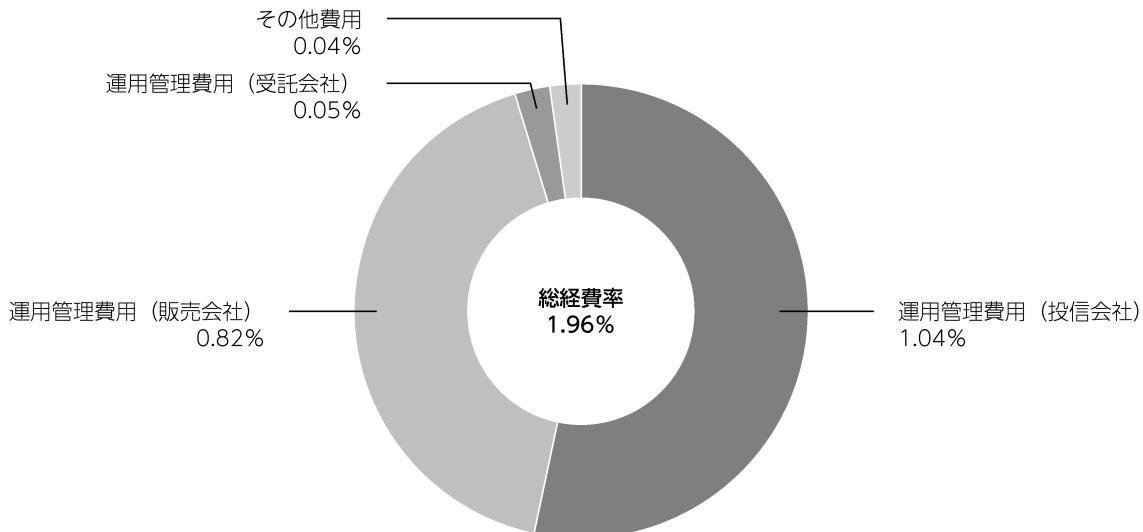
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.96%です。**



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年5月28日～2025年5月27日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グリーン・テクノロジー株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,356,287	千円 1,559,000

## ○株式売買比率

(2024年5月28日～2025年5月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グリーン・テクノロジー株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,090,870千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,016,443千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.84

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年5月28日～2025年5月27日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;グリーン・テクノロジー株式ファンド（為替ヘッジなし）&gt;

該当事項はございません。

&lt;グリーン・テクノロジー株式マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	百万円 3,250	百万円 111	% 3.4	百万円 5,719	百万円 340	% 5.9

平均保有割合 53.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年5月27日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グリーン・テクノロジー株式マザーファンド	千口 3,898,586	千口 2,542,299	千円 2,615,009

## ○投資信託財産の構成

(2025年5月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グリーン・テクノロジー株式マザーファンド	千円 2,615,009	% 98.7
コール・ローン等、その他	34,721	1.3
投資信託財産総額	2,649,730	100.0

(注) グリーン・テクノロジー株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（4,346,809千円）の投資信託財産総額（4,812,377千円）に対する比率は90.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=142.37円	1 ユーロ=162.33円	1 イギリスポンド=193.42円	1 スウェーデンクローネ=14.98円
1 デンマーククローネ=21.76円	1 オーストラリアドル=92.46円	1 香港ドル=18.17円	1 オフショア元=19.8424円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年5月27日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	2,649,730,426
グリーン・テクノロジー株式マザーファンド(評価額)	34,720,810
未収利息	2,615,009,176
未収利息	440
(B) 負債	28,350,639
未払解約金	1,893,953
未払信託報酬	26,409,959
その他未払費用	46,727
(C) 純資産総額(A-B)	2,621,379,787
元本	2,752,841,664
次期繰越損益金	△ 131,461,877
(D) 受益権総口数	2,752,841,664口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,522円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 4,147,252,023円  
 期中追加設定元本額 73,523,549円  
 期中一部解約元本額 1,467,933,908円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9522円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は131,461,877円です。

## ③分配金の計算過程

項目	2024年5月28日～ 2025年5月27日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	18,402,866円
分配準備積立金額	436,876,621円
当ファンドの分配対象収益額	455,279,487円
1万口当たり収益分配対象額	1,653円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ④「グリーン・テクノロジー株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○損益の状況（2024年5月28日～2025年5月27日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 75,414
受取利息	70,670
その他収益金	4,744
(B) 有価証券売買損益	△568,942,667
売買益	129,134,795
売買損	△698,077,462
(C) 信託報酬等	△63,219,685
(D) 当期損益金(A+B+C)	△632,086,938
(E) 前期繰越損益金	436,876,621
(F) 追加信託差損益金	63,748,440
(配当等相当額)	( 18,303,303)
(売買損益相当額)	( 45,445,137)
(G) 計(D+E+F)	△131,461,877
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△131,461,877
追加信託差損益金	63,748,440
(配当等相当額)	( 18,402,866)
(売買損益相当額)	( 45,345,574)
分配準備積立金	436,876,621
繰越損益金	△632,086,938

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三井UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[ お 知 ら せ ]

①東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。

（2024年11月5日）

②投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

（2025年4月1日）

## グリーン・テクノロジー株式マザーファンド

## 《第8期》決算日2025年5月27日

[計算期間：2024年11月28日～2025年5月27日]

「グリーン・テクノロジー株式マザーファンド」は、5月27日に第8期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>主として日本を含む世界各国のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、グリーン・テクノロジー関連企業とは、SDGs（持続可能な開発目標）における持続可能なエネルギーや気候変動に関する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待される企業をいいます。</p> <p>株式等への投資にあたっては、グリーン・テクノロジー関連企業の中から、3つのテーマへの貢献度や事業の収益機会を考慮した投資候補銘柄を選定し、その銘柄群の中から、企業の成長見通し、事業構造の質、競争優位性および株価のバリュエーション等を考慮して組入銘柄を選定します。</p> <p>株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターーズ・ゲーエムベーハーに運用指図に関する権限を委託します。また、アリアンツ・グローバル・インベスターーズ・ゲーエムベーハーは、委託を受けた運用の指図に関する権限の一部を、アリアンツ・グローバル・インベスターーズ・アジア・パシフィック・リミテッドに更に委託することができます。</p> <p>株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	(参考指數) MSCI オールカントリー・ ワールド インデックス		株組入式率	株先物比率	純資産額
		期騰落率	中期騰落率			
4期(2023年5月29日)	円 11,238	% 3.2	% 48,625.62	% 6.7	% 96.9	百万円 12,618
5期(2023年11月27日)	10,381	△ 7.6	55,178.41	13.5	96.1	— 9,144
6期(2024年5月27日)	12,572	21.1	66,772.97	21.0	94.5	— 8,835
7期(2024年11月27日)	11,084	△11.8	71,111.59	6.5	95.0	— 6,094
8期(2025年5月27日)	10,286	△ 7.2	67,643.27	△ 4.9	96.3	— 4,807

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指數で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指數に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	(参考指數) MSCI オールカントリー・ ワールド インデックス		株組入式率	株先物比率
		騰落率	(配当込み、 円換算ベース)		
(期首) 2024年11月27日	円 11,084	% —	% 71,111.59	% —	% 95.0
11月末	10,973	△ 1.0	70,057.23	△1.5	95.0
12月末	10,913	△ 1.5	73,004.44	2.7	97.1
2025年1月末	10,524	△ 5.1	73,084.54	2.8	94.3
2月末	10,263	△ 7.4	69,646.81	△2.1	98.2
3月末	10,069	△ 9.2	67,493.64	△5.1	98.3
4月末	9,630	△13.1	64,566.47	△9.2	95.9
(期末) 2025年5月27日	10,286	△ 7.2	67,643.27	△4.9	96.3

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

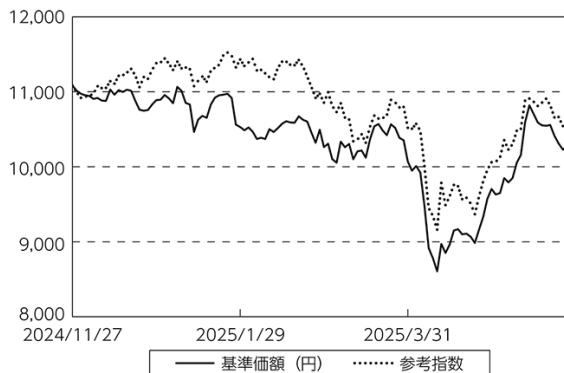
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.2%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指標は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指標化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

## (下落要因)

保有するオーウェンスコーニングやファーストソーラーなどの株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎株式市況

・グローバル株式市況は上昇しました。  
 期間の初めから2025年1月にかけては、インフレ鈍化を示唆する経済指標の結果などを受けて米国金利が低下したことや、銀行を中心に好調な企業決算が発表されたことなどがプラス材料となりました。その後、トランプ米政権による関税引き上げなどの政策を受けて、世界的な景気後退や貿易戦争の激化への懸念が高まったことなどがマイナス材料となり下落した局面が

あったものの、当期間を通じてみると上昇しました。

## ◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落した一方、ユーロは対円で上昇しました。
- ・主要通貨について当期間を通じてみると、景気後退を示唆する経済指標の結果などを受けて米国金利が低下したことなどを背景に米ドルは円に対して下落しました。一方、ユーロについては円に対して上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当期間は、S D G s（持続可能な開発目標）における持続可能なエネルギーや気候変動に関する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待されるグリーン・テクノロジー関連企業の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、グリーン・テクノロジー関連企業の中から、3つのテーマへの貢献度や事業の収益機会を考慮した投資候補銘柄を選定し、その銘柄群の中から、企業の成長見通し、事業構造の質、競争優位性および株価のバリュエーション等を考慮しました。なお、運用指図に関する権限をアリアンツ・グローバル・インベスターーズ・ゲーエムベーハー\*に委託しています。  
 ※同社は運用指図に関する権限の一部をアリアンツ・グローバル・インベスターーズ・アジア・パシフィック・リミテッドに更に委託します。

決算日時点におけるテーマ別構成比は、クリーンエネルギー生成34.4%、効率的なエネルギー貯蔵12.9%、持続可能なエネルギー消費49.1%となっております。(比率は純資産総額に対する割合です。)

銘柄入れ替えのポイントは以下の通りです。

#### ◎新規組入銘柄

モノリシック・パワー・システムズ（持続可能なエネルギー消費）<スマートグリッド（次世代送電網）>

同社は、電力管理ソリューションというニッチ分野における主要プレイヤーであり、新しい人工知能（A I）時代において、エネルギー効率化ソリューションを求める流れから恩恵を受けると考え、新規購入しました。同社の半導体製品は産業用パワー・マネジメント、電気自動車分野で重要な役割を果たし、気候変動対策に貢献していると考えています。

#### ◎全売却銘柄

サムスンS D I（効率的なエネルギー貯蔵）<リチウムイオン>

中国の競合企業との競争激化により軟調となつた韓国のリチウムイオン電池メーカーであるサムスンS D Iを全売却しました。

#### エンゲージメント（企業との目的を持った対話）

ネクサンス（クリーンエネルギー生成）<再生可能エネルギー>

同社は、送電や配電に使用されるケーブルや関連サービスなどを提供する企業です。同社の取締役会の構成に関して、議論を深めるために、エンゲージメントを実施しました。最高経営責任者（C E O）の報酬に関し、長期インセンティブ制度（L T I P）における無償株式の付与や、株主総利回り（T S R）の達成水準に関する誤解を招く開示内容について懸念を伝えました。同社は意見を真摯に受け止めつつも、現行の制度の維持を支持する姿勢を示しました。

#### エア・リキード（効率的なエネルギー貯蔵）<水素技術>

同社は、産業、ヘルスケア分野などに産業用ガスおよび関連技術、サービスを提供する企業です。同社の生物多様性および気候変動戦略に関して、議論を深めるために、エンゲージメントを実施しました。生物多様性については、自然関連財務情報開示タスクフォース（T N F D）フレームワークの採用によって水不足が問題になつてない地域にも水資源管理システムを拡大することなどを提案しました。また、気候変動については、同社のネットゼロ戦略などへの整合性について議論し、より高い目標設定を求めました。

※アリアンツ・グローバル・インベスターズ（以下、Allianz GI）の資料に基づき作成しております。エンゲージメントにおいて、実施時期が運用報告期間と異なる場合があります。

#### Allianz GIのステュワードシップ活動

2024年は、460社の投資先企業との間で605回のエンゲージメントを行いました。Allianz GIは、サステナブル投資とインパクト投資が加速度的に発展する中、私たちのアプローチは長期的なビジョンに導かれており、お客様やその他のステークホルダーの明確な投資目標を実現することに重点を置いています。

※S D G s（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の目標で、持続可能な社会を実現するために貧困や教育、環境など17の目標から構成されています。

#### ○今後の運用方針

- ・先進国や多くの新興国では経済の悪化が広がる中、米国による関税政策は、世界の経済・貿易システムに大きな影響を与える可能性があります。米国市場のようなバリュエーションの高い市場では、不確実性の高まりや成長とインフレ見通しの悪化などを背景に、ボラティリティの大幅な上昇や調整期間の長期化の可能性が高まっています。欧州や中国は米国の関税による需要へのマイナスの影響により、同地域の一部の株式は打撃を受けると見ています。当ファン

ドの運用については、S D G s（持続可能な開発目標）における持続可能なエネルギー・気候変動に関する目標の達成に貢献することが期待され、かつクリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費の3つのテーマに積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待されるグリーン・テクノロジー関連企業への投資を行ってまいります。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年11月28日～2025年5月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 2 (2)	% 0.019 (0.019)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.019 (0.016) (0.003)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	5	0.046	
期中の平均基準価額は、10,342円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年11月28日～2025年5月27日)

## 株式

		買付		売付	
国	内	株数	金額	株数	金額
国	内	上場	千株 36	千円 102,202	千円 22
外	アメリカ	百株 142	千アメリカドル 2,101	百株 405	千アメリカドル 3,909
	カナダ	—	千カナダドル —	—	千カナダドル 2,437
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	284	1,068
	イタリア	—	—	72	52
	フランス	52 (—)	491 (△ 6)	55	494
	スペイン	— (1,150)	— ( 15)	1,150	19
	デンマーク	— ( 167)	千デンマーククローネ (—)	368	千デンマーククローネ 10,095
	香港	—	千香港ドル —	316	千香港ドル 1,859
	韓国	—	千韓国ウォン —	35	千韓国ウォン 776,479
	中国オフショア	4,950	千オフショア元 14,213	—	千オフショア元 —

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2024年11月28日～2025年5月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	2,299,007千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,016,131千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年11月28日～2025年5月27日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	1,553	42	2.7	2,462	225	9.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井UFJ銀行、三井UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年5月27日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
電気機器 (79.0%)	千株	千株	千株	千円
ニデック	—	36.4	36.4	101,537
ジー・エス・ユアサ コーポレーション	40.1	40.1	40.1	102,555
ルネサスエレクトロニクス	88.9	66	66	114,477
輸送用機器 (21.0%)	44.4	44.4	44.4	84,626
デンソー				
合計	株数・金額	173	186	403,196
	銘柄数 <比率>	3	4	<8.4%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)			千アメリカドル	千円		
NEXTERA ENERGY INC	百株	百株				公益事業
	173	173	1,175	167,394		
MICRON TECHNOLOGY INC	64	33	314	44,757		半導体・半導体製造装置
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	52	—	—	—		半導体・半導体製造装置
ON SEMICONDUCTOR	93	93	387	55,183		半導体・半導体製造装置
AMPHENOL CORP-CL A	171	112	962	137,046		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ITRON INC	92	88	999	142,295		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	—	7	491	69,951		半導体・半導体製造装置
FIRST SOLAR INC	65	87	1,385	197,209		半導体・半導体製造装置
CHART INDUSTRIES INC	85	20	319	45,488		資本財
ENERSYS	105	99	800	113,963		資本財
EVERSOURCE ENERGY	117	117	748	106,601		公益事業
NXP SEMICONDUCTORS NV	28	25	483	68,883		半導体・半導体製造装置
OWENS CORNING	75	21	293	41,755		資本財
BROADCOM INC	—	36	843	120,124		半導体・半導体製造装置
NVENT ELECTRIC PLC	89	89	580	82,661		資本財
VERTIV HOLDINGS CO-A	86	59	618	88,009		資本財
ENPHASE ENERGY INC	53	—	—	—		半導体・半導体製造装置
BLOOM ENERGY CORP- A	154	116	227	32,320		資本財
MARVELL TECHNOLOGY INC	—	62	377	53,803		半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	1,509	1,246	11,009	1,567,453	
	銘柄数 <比率>	16	17	—	<32.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
ALGONQUIN POWER & UTILITIES	1,355	—	—	—		公益事業
NORTHLAND POWER INC	350	—	—	—		公益事業
BORALEX INC -A	289	—	—	—		公益事業
小計	株数・金額	1,995	—	—	—	
	銘柄数 <比率>	3	—	—	<-%>	
(ヨーロ…ドイツ)			千ユーロ			
RWE AG	235	—	—	—		公益事業
INFINEON TECHNOLOGIES AG	409	409	1,392	226,123		半導体・半導体製造装置
WACKER CHEMIE AG	48	—	—	—		素材
AURUBIS AG	81	81	649	105,494		素材
小計	株数・金額	775	491	2,042	331,617	
	銘柄数 <比率>	4	2	—	<6.9%>	
(ヨーロ…イタリア)						
ENEL SPA	1,492	1,419	1,153	187,320		公益事業
小計	株数・金額	1,492	1,419	1,153	187,320	
	銘柄数 <比率>	1	1	—	<3.9%>	
(ヨーロ…フランス)						
AIR LIQUIDE SA	82	58	1,094	177,620		素材
COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN	—	52	521	84,603		資本財
SCHNEIDER ELECTRIC SE	48	48	1,065	172,923		資本財
ALSTOM	245	212	407	66,107		資本財
NEXANS SA	105	105	1,076	174,703		資本財
小計	株数・金額	480	477	4,164	675,958	
	銘柄数 <比率>	4	5	—	<14.1%>	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…オランダ) SIGNIFY NV		百株 388	百株 388	千ユーロ 853	千円 138,629	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	388 1	388 1	853	138,629 <2.9%>		
(ユーロ…スペイン) IBERDROLA SA EDP RENOVAVEIS SA		678 472	678 472	1,101 412	178,766 66,885	公益事業 公益事業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,150 2	1,150 2	1,513	245,651 <5.1%>		
(ユーロ…アイルランド) KINGSPAN GROUP PLC		104	104	789	128,204	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	104 1	104 1	789	128,204 <2.7%>		
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,391 13	4,030 12	10,517 —	1,707,382 <35.5%>		
(イギリス) SSE PLC NATIONAL GRID PLC		485 417	485 417	千イギリスポンド 850 455	164,461 88,038	公益事業 公益事業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	902 2	902 2	1,305 —	252,499 <5.3%>		
(スウェーデン) BOLIDEN AB		308	308	千スウェーデンクローネ 9,683	145,063	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	308 1	308 1	9,683	145,063 <3.0%>		
(デンマーク) VESTAS WIND SYSTEMS A/S ORSTED A/S ROCKWOOL A/S-B SHS		199 154 32	— — 186	千デンマーククローネ — — 5,795	— — 126,103	資本財 公益事業 資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	386 3	186 1	5,795	126,103 <2.6%>		
(香港) ENN ENERGY HOLDINGS LTD HAIER SMART HOME CO LTD-H		867 3,054	551 3,054	千香港ドル 3,493 7,161	63,473 130,126	公益事業 耐久消費財・アパレル	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,921 2	3,605 2	10,654	193,600 <4.0%>		
(韓国) SAMSUNG SDI CO LTD		35	—	千韓国ウォン —	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	35 1	— —	— —	— <-%>		
(中国オフショア) LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A MING YANG SMART ENERGY GRO-A		—	1,434	千オフショア元 2,149	42,652	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	1,434 4	4,606 2,173 2,987	91,398 43,125 59,287	資本財 資本財 資本財	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	13,450 41	15,229 39	—	4,228,566 <88.0%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2025年5月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 4,631,763	% 96.2
コール・ローン等、その他	180,614	3.8
投資信託財産総額	4,812,377	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (4,346,809千円) の投資信託財産総額 (4,812,377千円) に対する比率は90.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信買賣相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=142.37円	1 ユーロ=162.33円	1 イギリスポンド=193.42円	1 スウェーデンクローネ=14.98円
1 デンマーククローネ=21.76円	1 オーストラリアドル=92.46円	1 香港ドル=18.17円	1 オフショア元=19.8424円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 4,812,377,156
コール・ローン等	176,497,261
株式(評価額)	4,631,763,402
未収配当金	4,115,739
未収利息	754
(B) 負債	5,000,000
未払解約金	5,000,000
(C) 純資産額(A-B)	4,807,377,156
元本	4,673,838,768
次期繰越損益金	133,538,388
(D) 受益権総口数	4,673,838,768口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,286円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,498,798,602円  
 期中追加設定元本額 407,134,421円  
 期中一部解約元本額 1,232,094,255円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0286円です。

## ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

- グリーン・テクノロジー株式ファンド (為替ヘッジなし) 2,542,299,413円  
 グリーン・テクノロジー株式ファンド (為替ヘッジあり) 2,131,539,355円  
 合計 4,673,838,768円

## ○損益の状況

項目	当期末
(A) 配当等収益	円 54,110,608
受取配当金	51,641,872
受取利息	2,468,736
(B) 有価証券売買損益	△454,514,753
売買益	295,020,746
売買損	△749,535,499
(C) 保管費用等	△ 917,491
(D) 当期損益金(A+B+C)	△401,321,636
(E) 前期繰越損益金	595,900,190
(F) 追加信託差損益金	4,865,579
(G) 解約差損益金	△ 65,905,745
(H) 計(D+E+F+G)	133,538,388
次期繰越損益金(H)	133,538,388

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## [お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2025年4月1日)